



いびき

◇『第25回 温故創新セミナー』

副本部長・企画副委員長 松下 章一
〔江戸川支部 (有)松下運送〕



10月18日～19日『第25回温故創新セミナー』を長崎で実施しました。

最初の視察先として、テレビショッピング大手である「ジャパネットたかた」本社を訪問しました。社屋展示室には、歴代のテレビショッピングで販売された商品、メーカーからの大量購入による記念品など

が展示されており、我々メンバーの中にも「これ買ったよ!」との声を上げる方が何人もいました。

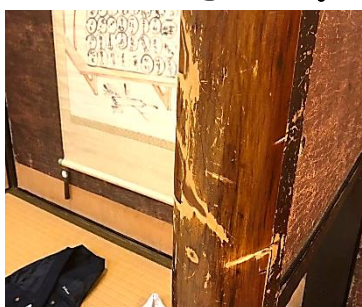
また、社史を紹介するフロアでは、創業当時の「株式会社たかた」が長崎のローカルラジオの1コーナーでカメラを販売したところ、1回の放送で1か月分の売り上げを計上したのを機に、様々なメディアで商品販売を手がけ、今日の姿を作り上げたことなどの説明がありました。



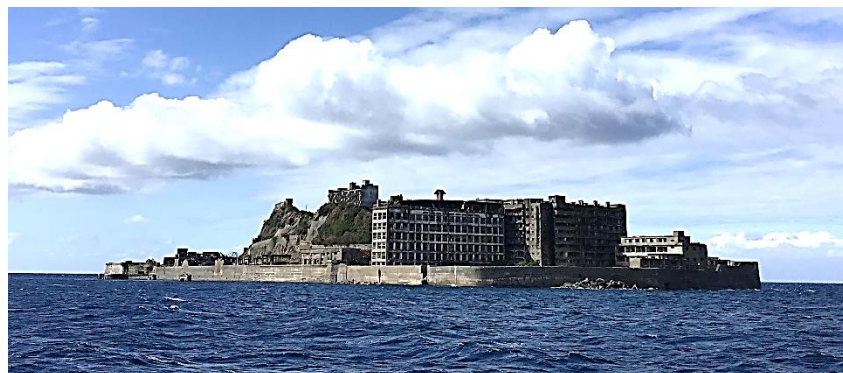
普段テレビで見るままの放送を生で見ることができ、さらにテレビ生放送の舞台裏も見ることができました。



夜は、史跡料亭花月に場所を変えて懇親会を開催しました。花月は、坂本龍馬らが入り出していた料亭として知られ、坂本龍馬がつけたと言われている刀傷のある部屋を用意していただき、幕末の宴会を楽しませていただきました。



竜の間
幕末の長崎において
「龍山社中(のちに海援隊)」を
結成した坂本龍馬
花月へは同志や文化人たちが
よく来遊していたそうです
龍馬は二階にありながら庭園を
目の高きで望む部屋の色と
好みを眺めていたとか
床柱の傷は彼がつけた刀傷と
いわれています



2日目は、今回の温故創新のメインテーマであり、世界遺産にも登録されている「軍艦島」に船で向かいましたが、台風の影響で桟橋の手すりですべて流されてしまい、軍艦島は上陸できず、周遊したのち近くの「高島」に寄港しました。ガイドの方から軍艦島について、採掘や輸送の機械を波の少ない半島側に配置し、台風の際の防波堤代わりに外海側に住居棟を設置していたことや、当時の炭鉱の仕事は



高給と引き換えの非常に危険な仕事であったことなどを説明していただきました。

黒いダイヤモンドとして、日本の戦後復興の原動力としての石炭採掘と遺物としての軍艦島を、テーマ通り、偲ぶことができました。



軍艦島の他、グラバー園や国宝の大浦天主堂などを見学し、江戸時代の鎖国から、幕末、明治、近代そして現代へと移っていく歴史、特に「軍艦島」と「ジャパネットたかた」を柱とした今回の温故創新セミナーを、2日間という短い期間でしたがこの長崎の地でたどることができたと思います。

次回も沢山の会員の皆様が参加していただきますよう、企画委員の一人として頑張る所存です。

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

11/18 (月)		東ト協チャリティーゴルフ大会
○ 11/28 (木)	17:00～	正副本部長会議・幹事会合同会議
○ "	18:00～	ロジ研忘年会
		(ANA インターコンチネンタル東京 3階『ザ・ステーキハウス』)
12/ 2 (月)	17:00～	三組織連絡会 (東ト総合会館 6階中会議室)
○ 12/13 (金)	15:30～	物流政策勉強会 (東ト総合会館 7階大会議室)
○ "	17:10～	" 交流会 (Bistro W)
○ 12/17 (火)		経営者セミナー・ロジ研合同セミナー (予定)